

臨床研究に関する情報公開（研究要旨）

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	26
研究課題名	急性下部消化管出血患者の臨床アウトカムの実態とその関連因子の解明:多施設共同後ろ向き研究
研究責任者 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	消化器内科 部長 今村秀道
共同研究者 (利用する者の範囲)	副院長 迎慎二・消化器センター内科系部長 橋本健明・消化器内科 医員 竹田悠太郎・消化器内科 医員 野口裕紀 消化器内科 医員 小林玲子・初期研修医 増子綾香
研究目的 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	急性下部消化管出血患者の臨床アウトカム(以下、アウトカム)の頻度、及びそれに関連する因子を明らかにすること。2010年1月1日から2023年8月31日までに血便症状で受診した患者の診療録で後ろ向き調査をおこなう。
他の研究機関(共同研究機関含む)への情報提供の有無、及び提供先の研究機関名・その提供方法	[あり]:東京医科大学病院 [あり]の場合提供先の研究機関名 および その提供方法 [WEB入力した情報をエクセルとして抽出し、パスワードをつけて送信する。その際、IDや名前を特定出来ないように対応表を作成し、研究ID番号を付した対応表を別途保管する]
研究実施期間	2024/01/27～2029/12/31
研究対象者 及び対象期間	2010年1月1日から2023年8月31日までに血便症状で受診した患者
利用する情報 (利用し、または提供する 試料・情報の項目)	施設情報、患者背景情報、入院時現症、検査値、既往歴、併存疾患(現状と既往含む)、受診時薬剤(内服、注射、座薬含む)、抗血栓薬の休薬と再開、抗凝固薬の拮抗薬の有無、CT検査情報(時期、所見、画像)、前処置、内視鏡機器、内視鏡検査情報(時期、所見、画像)、輸血治療、内視鏡治療内容、放射線治療内容、外科治療内容、治療に伴う偶発症(穿孔、敗血症)、短期アウトカム(受診後30日以内)、長期アウトカム(受診後1年、3年)。
研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
備考	実施許可日から2029年12月31日までにデータの収集・解析を行う